

研究協力のお願

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくて実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学

内科学 教室

記

研究の名称	タクロリムス抵抗性潰瘍性大腸炎に対してインフリキシマブを追加併用することによる有用性を検討する後方視的観察研究
対象	2013年6月1日から2022年6月31日までに重症潰瘍性大腸炎症例に対しタクロリムスで寛解に至らず、一定期間インフリキシマブを併用した17症例を対象として解析します。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2028年5月31日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：潰瘍性大腸炎は再燃と寛解を繰り返す原因不明の難治性疾患で根治は困難とされています。近年では生物学的製剤や分子標的薬の開発が進んだことで治療の選択肢が増えてきていますが、その中で、重症化した場合に選択される治療薬の一つとして タクロリムスとインフリキシマブが本邦の治療指針に明記されています。今回、当院タクロリムスにて十分な治療効果が得られなかった症例に対してインフリキシマブを併用することによる治療効果を検討することを目的としました。</p> <p>利用方法：患者さんの情報を、当院の診療記録から収集し、抽出した情報を基に統計解析を行います。抽出する診療情報は、診療情報と同様に厳重に管理され、個人を特定できる情報が漏れることはありません。研究結果は、個人を特定できないように対処したうえで、学会や学術誌で発</p>

ん。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

<問い合わせ窓口>

【研究機関】

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 内科学

担当者 柿本 一城

連絡先 072-683-1221 (代) 内線 53448

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 柿本 一城 殿

研究の名称	タクロリムス抵抗性潰瘍性大腸炎に対してインフリキシマブを追加併用することによる有用性を検討する後方視的観察研究
-------	---

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）